

福祉のネットワーク永山だより

61号

発行・編集：福祉のネットワーク永山
事務局：多摩市社会福祉協議会
TEL：042-373-5616
FAX：042-373-6629
E-mail
nw-nagayama@tamashakyo.jp



第1回定例会

今年度第1回目「福祉のネットワーク永山」の定例会を5月16日に開催。福祉のネットワーク永山は顔のみえる関係づくりを目的とし、健康づくりやネットワークづくり、地域の情報共有と発信をしている。定例会では、多摩市社会福祉協議会よりネットワークの活動、永山地域の人口などについて説明を受けた。続いて「みんなで支えあい、優しい福祉を目指して」をスローガンにした永山地域の令和8年度から向こう3年間の福祉活動計画である小地域福祉活動計画を紹介した。グループワークでは28人の参加者が4グループに分かれ、①地域で起きている現状②知りたいこと・共有したいこと③これからやっていきたいこと、をテーマに意見を述べ合った。

小地域福祉活動計画

永山エリアでは昨年度「永山の理想の姿」について話し合い、令和8年からのエリア別小地域福祉活動計画を立てた。

詳しくはこちら



こんなことやって
いきます

「多様な人々」「オープンな居場所」
「独居高齢者」「情報発信」「顔の見える関係」がキーワード。

☆目標1☆

「多様な人々が集い、活気あふれるまちへ」
→「特定の世代だけでなく、多様な人々が集えるオープンな居場所を増やすことを目指す」

☆目標2☆

「孤立を防ぎ、安心して暮らせるまちへ」
→「情報共有と発信を強化し、独居高齢者をはじめとする全ての住民が必要な支援や活動の場にアクセスしやすい環境を整える」等なっている。

地域活動「バス旅」



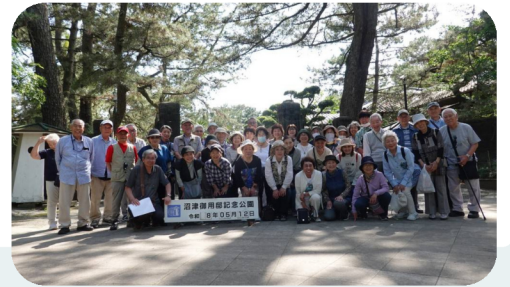
好天に恵まれた5月12日、「福祉のネットワーク永山」が恒例の貸し切りバスの旅を行った。行き先は静岡県三島市の三嶋大社、清水町の柿田川公園、沼津市の沼津御用邸記念公園。42人が参加し午前8時過ぎに出発した。

先ず三嶋大社に。三嶋大社は伊豆国の一宮として武家からの崇敬を集め、境内には「源頼朝が平家追討の心願を込めて百日の日参をした折、腰を掛けて休息したと伝えられる」石が残っている。その「腰掛石」に座ってみる人もいた。

三嶋大社から昼食会場の「沼津ぐるめ街道の駅」へ。「特桶盛り刺身御膳」の新鮮な魚を口にしながらの談笑となった。

次の目的地、柿田川公園は「日本の名水百選」「国指定天然記念物」である。バスを降りて径を歩き石段を下ると柿田川の最上流部、第1展望台に立つ。湧き水の輪が絶え間ない。40km北方の富士山に降った雨や雪が地下水となり、湧き出して川となり、狩野川と合流し、駿河湾に注いでいる。

3番目の目的地、沼津御用邸記念公園は昭和45年から都市公園として一般に公開されている。明治26年、当時は皇太子だった大正天皇のご静養先として造営されたが、太平洋戦争により本邸は全焼し、戦後まもなく御用邸は廃止された。1時間ほど見学し、帰りのバスはビンゴゲームを楽しみ午後6時半頃に永山に戻った。



まちかど「瓜生小学校が創立30周年」

瓜生小学校が創立30周年を迎えました。

11月21日の記念式典に向けて、実行委員会を組織し教職員の皆さまと協力して準備を進めています。

既に、地域の皆さまや保護者の方々の協力を得て、

ドローンによる航空写真撮影を実施しましたが、今後、

記念誌の発行や横断幕・記念グッズ等の作製も考えています。子供たちの成長と、これ迄の瓜生小学校の歩みを振りかえりながら、多くの皆さまの協力を得て、心に残る記念日にしたいと思います。

